

平成30年度 岩手県立盛岡第一高等学校 保健室経営計画

養護教諭 伊藤 恵

憲法第25条（健康権の保障）

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。②国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

教育基本法第1条（教育の目的）

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

学校保健安全法第5条（学校保健計画の策定等）

学校においては、児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図るため、児童生徒等及び職員の健康診断、環境衛生検査、児童生徒等に対する指導その他保健に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。



学校教育目標

「時代の先駆者として、社会に広く貢献する人間を育成する」

- 1 高い知性と教養を身につけた人間を育成する
- 2 たくましい精神力と思いやりの心を兼ね備えた人間を育成する
- 3 強健な身体と豊かな感性とあわせ持った人間を育成する



指導上の重点事項（健康安全指導）

- 1 生徒の心身の健康について、保健講話などを通じヘルスプロモーション*1の啓発に努める。
- 2 校舎内外の清掃の徹底を図り、環境美化に努めながら落ち着いた潤いのある学習環境づくりを推進する。
- 3 危機管理マニュアルを活用し、学校施設の安全体制を確立して、事故防止に万全を期するとともに、生徒の防災意識の醸成を図る。
- 4 定期考査期間等、定期的な生徒情報連絡会議を設定し、職員相互の情報交換に努める。
- 5 教育活動のあらゆる場面で、特別支援教育の手法を取り入れながら生徒理解を深め、生徒の心身の状態を的確に把握して、不登校生徒の出現を抑制する。

学校保健目標

- 1 ヘルスプロモーションスクール*2の気風を確立し、自ら健康行動をコントロールできる自己管理スキルの高い人間を育成する。
- 2 国民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小をめざし、他者の健康づくりにも積極的に関わる健康観を備えた人間を育成する。



生徒の主な健康課題

- 1 定期健康診断結果によると、全体的に歯の状態が良好であることと比較して、歯肉に炎症がある者が多い傾向にある（H29：未処置歯保有者 2.7%、処置完了者 17.7%、むし歯未経験者 79.6%、歯列・咬合要精密検査者のうち矯正中 89.0%、歯肉有所見者 33.0%）。
- 2 アンケート調査の結果から、睡眠時間や食生活等の生活習慣に不健康な要素があると自覚している生徒や自分の歯や口、口腔の健康維持への関心が低い生徒が多くいることが明らかになっている。

重点目標

- 1 歯・口の健康づくりを通して自律的に健康問題を解決し、行動できる教育を施す。
- 2 一次予防的観点*3からの健康教育を推進し、主体的な健康管理の定着を図る。



保健室 経営目標	保健室経営目標達成のための具体的な方策 (※…評価の観点)	自己評価				他者評価				
		到達 度	向 け て	今 後 に	理 由 ／	い つ	誰 か ら	方 法	到達 度	意見・助 言等
1 「気づき」をもたらす健康教育の充実を図る。	A)ブラッシング行動スキル尺度を活用し、その結果と健康診断結果とを分析してフォローアップを的確に行う。 ※分析結果を生徒、職員、保護者へ情報提供し、保健教育に生かすことができたか。	1				年度末	学校保健委員会委員	アンケート	1	
		2			2					
		3			3					
		4			4					
	B)校内外の連携を図り、口腔衛生講座及び食育講座を実施する。 ※主に学年・教科との連携を図り、専門的かつ効果的な講座を開講できたか。	1				年度末	学校保健委員会委員	アンケート	1	
		2			2					
		3			3					
		4			4					
	C)タイムリーな情報提供とホームページの活用を図る。 ※生徒のニーズや時期に適した広報・啓発活動ができたか。	1				年度末	学校保健委員会委員	アンケート	1	
		2			2					
		3			3					
		4			4					
保健室経営目標 1 に対する総合評価				1	2	3	4			
2 「予防」と「自己管理」の意識と行動の定着を図る。	A)欠席者・早退者等の理由及び学校・地域における疾病の流行傾向を把握し、適宜情報を提供する。 ※欠席者の理由や疾病の流行状況を的確に把握し、かつ全校生徒及び全職員へ情報提供することができたか。	1				年度末	学校保健委員会委員	アンケート	1	
		2			2					
		3			3					
		4			4					
	B)「成人期の入り口に達している自覚」を生徒のみならず、保護者にも理解を図る。 ※発達段階に相応しい行動を生徒自身が選択して実行するように促す働きかけができたか。	1				年度末	学校保健委員会委員	アンケート	1	
		2			2					
		3			3					
		4			4					
	C)設備・備品の整備を図り、校舎内外の清潔を保ち、感染症等の予防の徹底を図る。 ※生徒及び職員が、自ら熱中症やインフルエンザ等の予防を徹底する環境を整えることができたか。	1				年度末	学校保健委員会委員	アンケート	1	
		2			2					
		3			3					
		4			4					
保健室経営目標 2 に対する総合評価				1	2	3	4			

到達度：1 よくできた 2 ほぼできた 3 あまりできなかった 4 まったくできなかった

*1 ヘルスプロモーション：人々が自らの健康をコントロールし改善することができるようにするプロセス。

*2 ヘルスプロモーションスクール：そこで過ごしたり、学んだり、あるいは働いたりする環境をどのように健康的なものにしていくかについて、絶えず持てる力を強化し続けるような学校。

*3 一次予防：一人ひとりが健康的な生活習慣を自分で確立することを基本として健康を増進し発病を予防する対策。